

温室効果ガスの将来推計(現状対策ケース)

資料4 - 2

温室効果ガス別	現状対策ケース(2010年度) 基準年総排出量比			
	中環審第23回 (8月6日)	中環審第24回 (11月9日)	中環審第25回 (12月10日)	再推計後
エネルギー起源CO2	+7.1%		+5.4%	+5.4%
非エネルギー起源CO2、 CH4、N2O	0.9% ~ 0.4%			0.9% ~ 0.4%
非エネCO2	+0.1% ~ +0.1%			+0.1% ~ +0.1%
CH4	0.6% ~ 0.3%			0.6% ~ 0.3%
N2O	0.5% ~ 0.2%			0.5% ~ 0.2%
代替フロン等3ガス	(精査中)		+1.4%	+1.4%
HFC	(精査中)		+2.1%	+2.1%
PFC	(精査中)		0.3%	0.3%
SF6	(精査中)		0.4%	0.4%
総排出量	(精査中)		+7.6% ~ +8.1%	+5.9% ~ +6.4%
吸収量	3.1%		2.6%	2.6%
京都議定書目標達成に 必要な削減量	(精査中)		+10.5% ~ +11.0%	+9.3% ~ +9.8%

エネルギー起源CO2排出量の内訳

部門別	現状対策ケース(2010年度) 基準年比			
	中環審第23回 (8月6日)	中環審第24回 (11月9日)	中環審第25回 (12月10日)	再推計後
エネルギー起源CO2				
産業部門	6.2%		5.3%	5.3%
運輸部門	(+20%)		(+20%)	(+20%)
家庭及び業務その他	(+30%)		(+22%)	(+22%)
家庭部門	(+23%)		(+20%)	(+20%)
業務その他部門	(+37%)		(+24%)	(+24%)

中央環境審議会においては、中間の取りまとめ後も大綱の改定が行われるまでの残された間に、～の温室効果ガス排出量の精査を進めることとしており、上記の数字は現時点での環境省による暫定値である。